令和５年度　年間学習指導計画案

科目	歴史総合	単位数	２単位	学年・学科・コース	２年・衛生看護科
使用教科書	私たちの歴史総合（清水書院）			副教材等	なし

１．学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

評価の観点		
ａ．知識・技能	**ｂ．思考・判断・表現**	**ｃ．主体的に学習に取り組む態度**
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

２．学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			ａ	ｂ	ｃ		
4	第1篇 第1章　歴史と私たち 日本とスポーツの歴史 第2章　歴史の特質と資料 8月15日とそれぞれの「終戦」	私たちが日常的に見たり行ったりしているスポーツとの歴史との関連を考察して表現し、日本と世界の歴史がつながっていることを理解する。 「終戦」の持つ意義などを考察し表現し、歴史が資料に基づき叙述されていることを理解する。	○			日本とスポーツの歴史を基に、日本と世界の歴史が繋がっている事を理解すると共に、1945年の「終戦」を基に、歴史が資料に基づき叙述されている事を理解する。	定期考査 授業態度 ノート・ワークシート 課題
				○		スポーツと近代化、大衆化、グローバル化や1945年8月15日の「終戦」に関する複数の資料に着目して、資料から読み取った情報を考察し、表現している。	
					○	日本とスポーツの歴史や8月15日の「終戦」の意味や意義について、諸資料の活用を手がかりに、主体的に追究しようとしている。	
5	第2編 第1章　生活や社会の変化を読み取ってみよう 第2章　結びつく世界と日本	18 世紀のアジアにおける生産と流通、アジア・欧米諸国の貿易などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しつつ、経済活動の特徴、アジア内の関係、アジアと欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察・表現することで、18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。	○			18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などの資料を基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。	
				○		アジア諸国とその他の国や地域の動向比較や、相互の関連付けなどを行うことで、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	18 世紀のアジアの経済・社会に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
6	第3章　国民国家と明治維新	歴史的な見方・考え方を活用しつつ、18 世紀後半以降の欧米の市民革命や日本の明治維新などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。また、同様に列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	○			18 世紀後半以降の欧米の市民革命や、日本の明治維新などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	
				○		国民国家の形成の背景や影響などに着目し、アジア諸国とその他の国の動向を比較・関連付けすることで、国民国家の特徴やなどを多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	国民国家と立憲体制に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
7	第4章　近代化と現代的な 諸課題　鉄道建設	平等と格差の観点から、鉄道建設と近代化を主題に設定し、主題について多面的・多角的に考察、表現し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	○			平等と格差といった現代的諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	定期考査 授業態度 ノート・ワークシート 課題
				○		日本と清の鉄道建設の比較を通して鉄道建設と近代化について考察、表現している。	
8					○	鉄道建設と近代化のもたらす現代的な諸課題を主体的に追究しようとしている。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9	第3編 第１章　生活や社会の変化を読み取ってみよう。 第２章　第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦前後の歴史を通して、大総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制の成立や大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。	○			総力戦となった第一次世界大戦の特質・展開や惨禍、第一次世界大戦後の国際協調体制について諸資料を活用して理解する。	定期考査 授業態度 ノート・ワークシート 課題
				○		第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、総力戦、国際協調体制の成立などを多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	国際連盟やその後の国際連合、国際法の意義を理解し、国際社会の一員として、課題を主体的に追究しようとしている。	
１０ １１	第３章　経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、国際協調体制の動揺や第二次世界大戦の勃発の背景に関する事柄を理解する。	○			世界恐慌、第二次世界大戦の勃発などをもとに、当時の政治制度の特性や国際情勢、第二次世界大戦の展開を理解する。	
				○		経済危機の影響、国際秩序の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応、国際協調体制の動揺などを考察し、表現している。	
					○	世界恐慌への日本を含めた各国の対応やその限界に関して、現代的な諸課題との関わりを主体的に追究しようとしている。	
１２	第４章　国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 ナショナリズム	統合と分化の観点から、ナショナリズムと国際秩序の変化や大衆化を主題に設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	○			ナショナリズムに基く国家の統合や分化といった現代的諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	
				○		現代のナショナリズムに着目して、ナショナリズムと国際秩序の変化や大衆化について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	ナショナリズムと国際秩序の変化や大衆化のもたらす現代的な諸課題を主体的に追究しようとしている。	
1	第４編 第１章　生活や社会の変化を読み取ってみよう 第２章　冷戦と世界経済	脱植民地化、冷戦下の地域紛争、核兵器の管理などを基に、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々、欧米やソ連の政策転換などを多面的・多角的に考察することを通して、国際政治の変容を理解する。	○			脱植民地化、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。	定期考査 授業態度 ノート・ワークシート 課題
				○		地域紛争の背景、冷戦の影響などに着目し、主題を設定し、地域紛争と冷戦の関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	地域紛争や冷戦の影響、国際政治の動向に関して、国際社会の一員として、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
2	第３章　世界秩序の変容と日本	石油危機、アジアの諸地域の経済発展、冷戦の終結などを基に、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。	○			石油危機、アジアの諸地域の経済発展、冷戦の終結などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。	
				○		アジアの経済発展の背景、資源・エネルギーと地球環境問題、冷戦の変容と終結などに着目して、主題を設定し、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	アジアの経済発展、資源・エネルギーと地球環境問題、冷戦の終結が世界経済に及ぼした影響などに関して、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
3	第４章　現代的な諸課題の形成と展望　　移民	歴史総合の学習のまとめとして、持続可能な社会の実現を視野に入れ、主題を設定し、諸資料を活用し探究する活動を通して、主題について多面的・多角的に考察、構想、表現し、歴史的経緯を踏まえて現代的な諸課題を理解する。	○			歴史的経緯を踏まえて現代的な諸課題を理解するとともに、設定した主題に関連する諸資料を活用している。	
				○		事象の背景や原因、結果や影響などに着目し、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
					○	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	